就任のあいさつ

香美地区常務理事（統括）
森田 祐輔

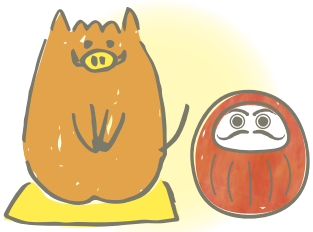
新組織の幕開けに際して、農家の皆様には変わりなく、郷土の豊かな自然に育まれた環境の中、活発な生産活動に精励されていることと拝察致します。

こうした取り組みの維持・発展には、特に香美地区では営農・経済事業の機能強化が最重要課題と認識の上、所得増大につなげるための拠点整備や各種支援事業を進めて参ります。そのことをはじめ「組合員・農業・地域」を今まで以上に意識し、持続可能な経営確立とともに、力を結集することが必須と考えております。

各地域において脈々と築いてきた協同組合運動としての確固たる意思と信念を県域に引き継ぎ、地区の特色を存分に活かした、内外にとって魅力のあるJA高知県づくりに向けまして、組合員各位の一層のご参画・お力添えをお願い申しあげます。

非常勤理事・監事

［理事］ **橋本 薫、前田 晴夫**
杉村 信夫
［監事］ **楠瀬 邦司**



役員紹介

常務理事（経済）
葛根 学

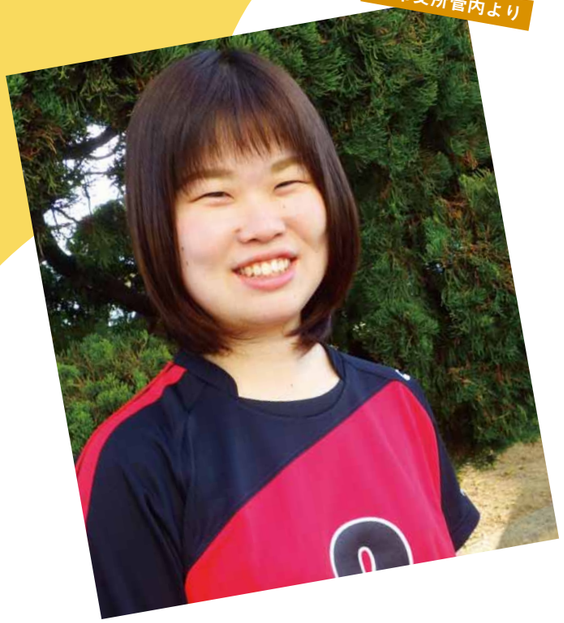
常務理事（信用共済）
森下 智裕

香美地区本部

住所　高知県香南市野市町西野 2704−2
TEL　0887−56−0121（地区本部代表）
営業時間　8：30 ～ 17：00
支所　物部支所、香北支所、土佐山田支所、野市支所、赤岡支所、吉川支所、夜須支所、香我美支所

香美地区から こんにちは 今月の気になる人

野市支所管内より



部員募集中です！

大西（おおにし） 美穂（みほ）さん（23）

香南市役所にお勤めの美穂さん。趣味は小学校の頃に始めたバレーボールで、今は一般のクラブチームに所属しプレーしています。「月に数回の練習と、試合が開催される日は出場しています。ちなみに、絶賛部員募集中です♪」と、にっこり。あなたも、一緒にバレーボールを楽しみませんか?

夜須支所管内より

地域の児童らと共に！

髙橋（たかはし） 大地（たいち）さん（34）

夜須町の特産品 「エメラルドメロン」を栽培する大地さん。青壮年部の本部長を勤め、女性部らと連携して学童農園などの活動にも積極的に取り組んでいます。この日は、夜須小学校の児童らと6月に田植えをしたほ場で稲刈り。「今日もみんな頑張りゆう！」と微笑み、活動に励んでいました。

香我美支所管内より

みかん産地に響かせて

藤村（ふじむら） 和也（かずや）さん（33）

香我美町の特産品 「山北みかん」を栽培する和也さん。農作業の合間には、趣味であるギターに没頭しています。11月3日に開かれた『山北みかんこもれびマルシェ』では、イベントステージで弾き語りを披露。「ハーモニカも吹きながらの演奏は大変よ（笑）」と言いながらも、青空広がるみかんの産地に、さわやかな音色を響かせました。

物部支所管内より

みんなぁで歩こうや、塩の道！

公文（くもん） 寛伸（ひろのぶ）さん（81）

土佐塩の道保存会で案内人を務める寛伸さん。土佐塩の道は 「新日本歩く道紀行100選」「美しい日本の歩きたくなる道500選」にも選ばれる香美市の指定文化財。ウォーキングに訪れる参加者を安全に先導しながら、道中に残る史跡や昔話について語り楽しませています。「この歴史を次世代へ語り継がないかん」と、まだまだ元気に歩き続けます。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

1 地区本部

地元食材で彩り良いお弁当を

女性部員に教わりながら調理をする生徒ら

香美地区女性部は毎年、香南市の全中学校で『お弁当の日』として出前授業を行っています。

この取り組みは、香南市の各給食センター栄養教諭・学校教諭らと協力し、平成20年度から毎年行っているもの。地域で生産される農産物を使った料理を通して、地域の農産や食文化を知ること、そしてお弁当を基準に、栄養バランスの良い一食分の目安を知ることが目的です。

食材の購入・準備は女性部が行い、レシピは『ニラともやしののりサラダ』、『インゲン（もしくはオクラ）の肉巻き焼き』、日本一早く出荷される早掘り甘藷「土佐紅」を使った『サツマイモの茶巾』など。また、部員お手製の『キュウリのこぶ茶漬け』、『ピーマンの肉みそ』もあわせて、管内産品を使った料理を彩り良く盛り付けました。

生徒らは、出来立てのお弁当をさっそく試食。「ニラの歯ごたえが残っちょっておいしい」「これなら野菜もしっかり食べれる」などと話し、地元食材を堪能しながら学びました。

2 地区本部

青壮年部・中川和樹さん 最優秀賞の栄冠に輝く

「みんなで支え合う『和』」と話し、会場を魅了する中川和樹さん

組織活動の強化と交流を目的とした中国四国地区JA青年大会が11月7・8日の2日間、島根県出雲市のビッグハート出雲で行われました。

大会には、中国・四国地区の盟友約260名が出席。各県の代表者が、地域農業や青壮年部活動、地域づくりへの想いや取り組みなどについて熱弁をふるいました。

当JA青壮年部は、青年の主張発表大会と、組織活動実績発表大会併せて10年連続での出場。盟友約15名が応援に駆け付けるなか、組織活動実績発表大会に高知県代表として物部支部の中川和樹さんが登壇しました。

中川さんは、放任園地の手入れや、新規就農者の受け入れ体制整備に向けて行ったJA・行政と連携した取り組みなどについて紹介。高齢化や後継者不足など、弱体化していた物部支部を仲間と共に再奮起させたことを『和』と題して発表しました。

その結果、中川さんは見事最優秀賞を受賞。2月19・20日に東京都で開催予定のJA全国青年大会に出場します。

3 地区本部

業種を超え、想いを伝え合う

思い出の写真に、思わず笑みがこぼれます

ビスタワークス研究所主催で8月に行われた『平成の武者修行（四国霊場八十八ヶ所の一部コースを、全国から集まった中学生と共に挑戦する取り組み）』。1DAYサポーターとして参加した当JAの元へ11月12日、ネッツトヨタ南国の新入社員らが思い出の写真を持って来組しました。

他業種のマネジメント技術を学び、交流の場にもなった夏のひと時。「今後もこうして手を取り合っていきたい」と、互いに想いを伝え合いました。

4 地区本部

自然の中で健康づくり

たくさんの自然や遺産に触れながら楽しみました

助け合い組織「かがやき」とJAは11月1日、健康ウォーク秋の部「塩の道を歩く」を開催。組合員や地域住民ら26名が参加しました。

今回のコースは、物部町庄谷相から香北町の久保川見渡し地蔵まで約5.6㎞の「源太のみち」。土佐塩の道保存会のガイドらが話す歴史に耳を傾けながら歩きました。お昼は「おばやんの竹弁当」で地元ならではの味を堪能し、参加者は「空気もお弁当もおいしかった」と大満足の様子でした。

5 香我美支所管内

みかん産地で楽しんで

このイベントは、毎年『11月3日＝いいみかんの日』として開催されています

香南市香我美町の山北公民館前広場で11月3日、地元農家や飲食店らが企画する『第3回山北みかんこもれびマルシェ』が開催されました。

合わせて74ブースが用意されるなか、女性部香我美支部と果樹女性部も出店。毎年恒例である山北みかん詰め放題も行われ、来場客は色鮮やかなみかんを袋いっぱいに詰め込みました。皮や粒の食感が丸ごと味わえる人気商品『山北みかんバター』は、用意した200個が即完売し大盛況となりました。

6 夜須支所管内

秋の海辺でお祭り開催

たくさんの親子が足を止めるブース前の様子

香南市夜須町のヤ・シィパークで11月18日、『第17回ヤ・シィの秋まつり』が開催されました。

女性部夜須支部とフレッシュミズ部会は、あんもちや温かいねぎうどんを用意し参加。子どもが楽しめるスーパーボールすくいも出店し、多くの親子連れが楽しみました。青壮年部同支部はダイコンやカブ、ニンジンなどの野菜を2tトラックなどに載せて販売。「これを楽しみに来た」という来場客もいるほど、今では毎年恒例となっています。

役立つ！ 得する！ 情報

えいのう～

初心者（家庭菜園）向け

ニラは早めの株分けと更新

肉との料理の相性が良く、スタミナ料理などに親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した野菜といえましょう。しかし、いくら強いといっても2～3年取り続けると、株が密生気味となり、幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまいます。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。

株分けに一番良い時期は、葉が枯れ根株が休眠状態に入っている冬の間です。この頃は根に栄養が十分蓄えられているので、断根や株の分割という荒療治をしても、傷みが少なく、作業がしやすいからです。

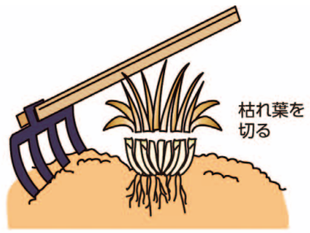
株分けの方法は、まず地上に残っている枯れ葉を、5㎝ぐらいの高さで、鎌できれいに刈り取ります。そして株の周りにくわかスコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします。根は強大で、密に広範に広がっているので、全てを一気に掘り取れないので、中途で縦に切断しても構いません。

掘り上げたら土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大割りし、さらに小割して、図のように2～3本ずつに分割します。これを2～3個まとめて、20～25㎝の株間に植え付けます。

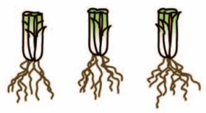
植え溝は事前に、8～10㎝ぐらいに深めに掘り、元肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十分に施しておきます。植える際には、根株を束ねないで、平置きにするよう心掛けましょう。溝は深めに掘って植えた根株を寒気や乾燥からも守ってやります。覆土は株の上部がやや出るくらいにとどめておき、やがて新葉が伸び出してきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。

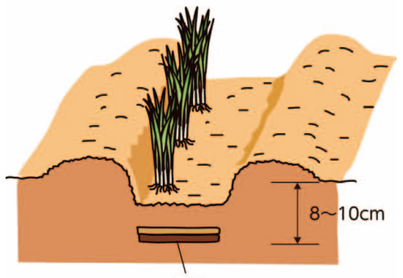
そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い、良質なニラになります。

株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で、通常古株は利用しません。



力を入れて大きく掘り起こす


指先で2～3本ずつに分割する



ニラ

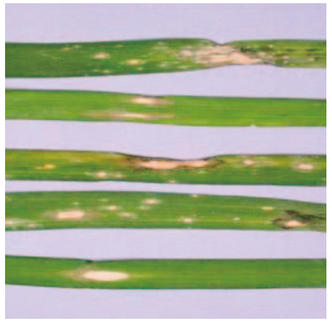
冬季のニラ栽培で問題となる病害は白斑葉枯病です。

白斑葉枯病（スカモサ）

◆葉に白色の小斑点を散生、病斑が酷くなると円～長紡錘形になる。（病斑の大きさ5㎜前後～15㎜）

◆病斑の中心は灰色、健全な箇所との境目が不明瞭である。

◆病斑が進展すると、葉先や葉縁枯れ上がる。（枯れた場所に黒色の粒ができる）


被害の様子

発病条件

冬季の気温低下と湿度が高くなることで発生、4℃～15℃と低温で発育が可能です。

防除方法

風通しが悪く、多湿環境になり、葉が長時間濡れた状態が続くことで発生します。伝染力が非常に強くなるため、潅水量の調整や小まめな換気を行い、湿度管理に注意しましょう。

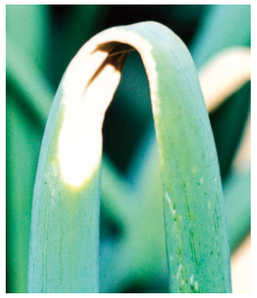
また、発生防止のため、気温が低くなりだした頃に薬剤による予防散布、発生初期の薬剤散布を行いましょう。薬剤を使用する際には登録薬剤を適正使用基準に従って正しく使用してください。

病気名：白斑葉枯病（病原菌名：Botoritis）											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

やっこねぎ

冬～春先にかけての病害虫対策

灰色かび病



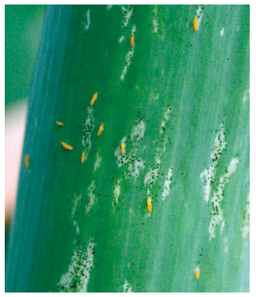
発生と生態

灰色かび病は、気温が低く多湿の状態が長く続く環境で発生しやすくなります。特にハウス栽培では、風通しが悪いときや、水はけの悪い土壌などが発生する原因に繋がります。春先、もしくは厳寒期にポリや寒冷紗などで被覆を行った際にも注意が必要です。

防除方法

湿度を好むので水のやり過ぎに注意し、風通しを良くするようこまめに換気を行いましょう。病原菌は、害虫の食害痕や窒素過多により軟弱に育った植物組織から侵入しますので、窒素肥料の多用は控え、病害虫の薬剤散布を徹底して行いましょう。肥培管理を適切にすることでも予防できます。

ネギアザミウマ



発生と生態

春先の気温の上昇と共に活動が活発になり、被害が目立ち始めます。

ネギアザミウマの被害の特徴は、ねぎの葉鞘に白くかすり状の食害痕をつけ品質を低下させてしまうことです。

また、病気のウイルスを運んでくることから、病気を多発させてしまう恐れがあります。春先前からの防除は徹底して行いましょう。

防除方法

春と秋には、好適環境下で猛烈な勢いで生息数が増加します。世代交代が早いので、薬剤に対する抵抗性を獲得する可能性の高い害虫です。生息数が多くならない時期に薬剤を散布し、作用機作の異なる薬剤をローテーションで散布することが効果的です。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

毎月一番に脳トレです。クロスワードパズル、どうしても分からないところは翌月まで置いておいて、チェックします…。
（香美市土佐山田町・女性・71歳）

▼私も必ず挑戦しますが、たま～に難易度の高い問題が出てきたりしますよね。モヤモヤするけど、やめられないのは何故でしょう…？（笑）

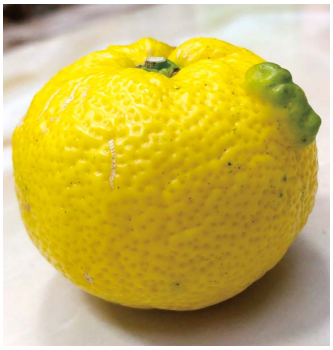
前年の広報誌の「あぐりふれんど☆クラブ」のやっこねぎ。「そぐったら、食べれるようになるきねぇ！」を見て「そぐったらって、どういう意味？」と妻に聞かれました。ちなみに、妻は県外から来ています。
（香南市赤岡町・男性・66歳）

▼ニラやネギの外葉などを取り除く作業を、私たちは何げなく「そぐる」と言っていますが…一般的には調整作業といいますもんね。あと、広報誌をご夫婦で読んで頂けているということが分かり、私はとても嬉しいです♪

寒さ対策にはショウガをいろいろ活用するといいと思うよ！
（香南夜須町・女性・70歳）

▼以前おたよりで募集した「ふゆじたく」を読んで、書いてくださったんでしょうか♪ありがとうございます。寒さ対策をして、暖かく冬を過ごしましょうね！

先日、兄が「芋虫がついちゅう！」といいながら収穫すると…面白いユズ！ 思わず慌てて家に持ち帰りました。家族でビックリ！
（香美市物部町・女性・16歳）



▼まさか、ユズにかぶりつく、はらぺこあおむし!?（笑）これは家族の話題の中心になりますね～♪

INFORMATION

お知らせ

各種ローン相談会のご案内

毎週日曜日にローン相談会を開催しています。気軽に相談できる体制で、職員一同心よりお待ちしています。なお、２月の日程および開催場所につきましては、下記のとおりとなっています。

日時・場所

2月　3日（日）9：00～12：00　野市支所
2月17日（日）9：00～12：00　土佐山田支所

【連絡先】 高知県農業協同組合 香美地区本部

〒781-5295 香南市野市町西野 2704-2
TEL.0887-56-0121

野市支所	56-0921	物部支所	58-3105
香北支所	59-2321	土佐山田支所	53-2155
吉川支所	55-2117	赤岡支所	55-2151
夜須支所	55-2155	香我美支所	55-3135

香美営農経済センター	56-2372
特産センター	56-0061
車輌センター	56-0314
農機センター	53-4221
LP ガスセンター	53-4353
JA 共済中央サービスセンター	088-864-5050
JA 葬祭会館「ルミエールとさかみ」（24 時間対応）	56-5911

＊地区担当者のつぶやき＊

“はらぺこあおむし”のユズを見て、フフッ♪と笑ってしまった井伏です。そういえば 11月の休日、私も物部の「マルブツ柚子」作業のお手伝いをしてきました♪ お昼ご飯はみんなで温かい鳥釜飯とおでんを頬張り…たくさんのユズに囲まれ充実した時間。両脇にいる仲の良い（というか仲良くしてくれている…?笑）後輩たちも誘って行ったのですが、窓口業務とはまた違った仕事を体験できてとても楽しかったようです（＾＾）